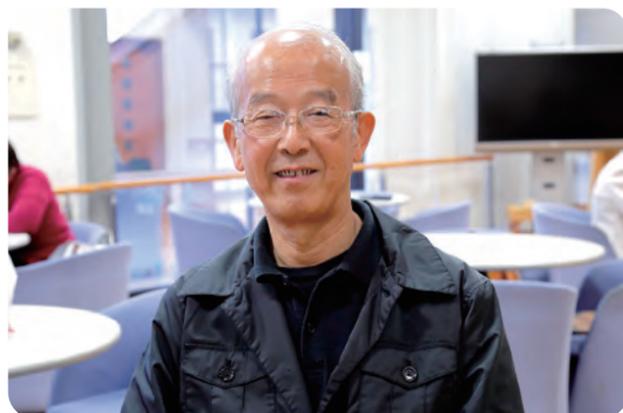


佐々町

「よう来たね、おいで、おいで」
ぷらっと寄れる
六ヶ流の場が、
まちを二気に
しています



佐々町元気カフェ・ぷらっと 代表 福田修三さん

自分たちの地域は自分たちで支える

町の南北に流れ、早春にはシロウオ漁が盛んな佐々川。その清流によって育まれた自然豊かな佐々町では、西九州道などの交通網も整備され、「暮らしやすいばん！住むならさざ！」をモットーにまちづくりが進められています。その中でも注目されているのが、平成28年6月に佐々町総合福祉センター2階にオープンした『元気カフェ・ぷらっと』。明るいロビーのテーブル席や大広間ではお茶やコーヒー、食事を楽しめるほか、広々とした大浴場も利用でき、たくさんの人たちで賑わっています。

「ここは誰もが気軽に来られる憩いの場。一番の目的は、高齢者が健康に暮らせるようにすることです。家に閉じこもりがちで高齢者が、ぷらっと遊びに来て、好きなことを楽しんでもらえる場にした」と運営団体『佐々町元気カフェ・ぷらっと』代表の福田修三さん。大広間を使って午前中に開かれる体操クラブには毎回40名前後の

メンバーが参加し、元気な声で歌を歌ったり、お茶を飲んだりしています。

また、元気カフェは各種受付や趣味クラブの運営、料理づくりから配膳サービス、清掃までの業務を約50名のボランティアが担っています。「利用者が楽しむだけでなく、私たちもここで活動することに生き甲斐を感じています。人に頼られたり、喜ばれたりすることが一番うれしいですね」とボランティアスタッフも生き生きとしています。

高齢者が参加。クラブ終了後は、地元旬の食材を使った低価格の日替わりランチをみんなでおしゃべりしながら食べ、午後からはカラオケを楽しむ人もいます。福田さんは、どんな人でも温かく迎え入れる家庭的な場所を目指しています。

また、元気カフェは各種受付や趣味クラブの運営、料理づくりから配膳サービス、清掃までの業務を約50名のボランティアが担っています。「利用者が楽しむだけでなく、私たちもここで活動することに生き甲斐を感じています。人に頼られたり、喜ばれたりすることが一番うれしいですね」とボランティアスタッフも生き生きとしています。

その他、持ち寄った手芸品や野菜などを販売して、カフェの運営資金にするなど、町内の多くの人たちも協力しています。

さらに、元気カフェでは定期的に開くイベントやワークショップで若い世代とも交流。寸劇やコーラス、イモ掘りなどには、福祉センター1階にある地域子育て支援拠点「ぶくぶくクラブ」の子どもたちを招くなど、世代を超えた交流にも力を入れています。

「佐々町は人口約1万4千人の小さなまちですが、町民同士のつながりが強く、行事や清掃など地域の活動にも

熱心。自分たちの地域は自分たちで支える、という意識の高い人が多いようです」。

高齢者が健康に暮らせるよう地域で支える取組として期待される元気カフェには、今日も住民の明るい声が響いています。



『佐々町元気カフェ・ぷらっと』のメンバーと佐々町地域包括支援センターのスタッフ



体操クラブ(参加料100円)は、佐々町地域包括支援センターのスタッフの指導により、和やかな雰囲気で行われる



元気カフェでは、同じ建物内にある地域子育て支援拠点「ぶくぶくクラブ」の子どもたちと一緒に世代間交流のイベントも行っている



体操クラブ終了後の昼食風景。料理は、町内で食生活改善をテーマに活動するボランティアグループ「みどり会」のメンバーが地元旬の食材を使って調理

古川岳
全長3.3kmの遊歩道が整備され、高台の展望所から、さらに10分ほど歩けば「降神(古川)岳の大岩(写真下)にたどり着く。ここは大昔、海だった場所で、岩肌には貝殻などが付着し、この場所に海が広がっていたことを物語っている
佐々町産業経済課
☎0956-62-2101

皿山公園
園内では、桜やアジサイなど、季節ごとにさまざまな花を鑑賞できる。特に5月末から6月中旬にかけて満開となる約2万株の花菖蒲が有名。駐車場には直売所も併設し、町内で採れた季節の野菜や特産品を販売
佐々町観光情報センター
☎0956-59-7761

佐々川
春の訪れとともに、川沿いの約1.5kmの河津桜ロードには、約150本の河津桜が咲き誇る。2月下旬から3月上旬にかけては「シロウオ漁」の最盛期にあたり、伝統的な「四つ手網」を駆使した独特の漁法を見ることが出来る
佐々町産業経済課
☎0956-62-2101

でんでんパーク
佐々町の名所の一つ、東光寺にいたという身の丈7尺(2m12cm)の豪腕僧侶「伝育坊」をモチーフにした大型の複合遊具「でんでんタワー」や古川岳クライミング、佐々川スプラッシュなど、佐々町をイメージした楽しい遊具を備える公園
佐々町教育委員会
☎0956-62-2128

表紙の絵にスマホやタブレットをかざすとAR動画が見られます!
※BGMには、大島ミチルさん作曲「Nagasaki Green&Blue」を使用しています。

「よかテレ」でもチェック!

読者プレゼント!
佐々町北村茶園「十宝草ティーバッグ」30包
P15の読者プレゼントの応募方法で、動画の中に出てくるキーワードを書いて応募ください。抽選で5名様にプレゼントします

まずは無料のARアプリ「COCOAR2」をスマホやタブレット端末にダウンロード
App Store
Google Play Store
COCOAR2 検索

iOS向け「App Store」またはAndroid向け「Google Play Store」から「COCOAR2」で検索。無料のARアプリ「COCOAR2」(ココアル2)をダウンロードして、対応する端末にインストールしてください。(パンダに「2」がついているアイコンが目印です) ※一部対応していない機種もあります

「COCOAR2」を起動し、表紙イラスト(P11)のレシピの写真を動かすと動画が見られます。読み込んでみましょう。画像を感知すると、自動で動画が再生されます。読み込んだあとは、端末をかざさなくても見ることが出来ます

表紙のはなし
『佐々川のシロウオ漁』
佐々川両岸に70基ほどの足場を築き、そこから昔ながらの四つ手網を降ろして遡上してくるシロウオを獲る「シロウオ漁」。佐々町に春の訪れを告げる風物詩の一つで、「シロウオまつり」などのイベントも開催される